



# 「ワクチン接種」順調なら 「人災の医療崩壊」は 劇的改善

特集

▶最大の障害は「日本医師会」

▶“寿司デート”的「中川会長」

▶変異株にも有効で米国が緊急承認

この人の身勝手に「うつさない！ うつらない！」が泣く

アストラゼネカ製の活用を！

打ち手不足に「歯科医師」活用を邪魔立て

今度は自身の病院で「クラスター」発生

「重症化・死亡リスク85%減」の「新治療薬」とは

東京歯科大学市川総合病院の寺嶋毅教授が言う。「ファイザー製とモデルナ製はメッセンジャーRNA、アストラゼネカ製はアデノウイルスベクターといつて、タイプが違います。簡単に言うと、アストラゼネカ製は新型コロナのスペイクタンパク質（突起部分）のDNAの設計図を、チンパンジーのアデノウイルスに組み込んで人体に注射します。するとアデノウイルスはベクター（運び屋）となつて細胞に入り込み、設計図を届ける。それを取り込んだ細胞は、メッセンジャーR

Naという物質を経てスペイクタンパク質を作り出し、体はこれに対する免疫を作ります。血栓症のリスクが報告されていますが、この数ヵ月の欧州等での接種例から対処法もわかつてきました。関連学会と連携し、対処法に関する手引きの作成も依頼しています」と、ここまで順調だつ

ない。現にイギリスではアストラゼネカ製ワクチンが多く接種され、感染者数をぐっと抑えることに成功しています。血栓症のリスクが報告されていますが、この点でも依頼しています」と、ここまで順調だつ

たのだが、「この議論を、公衆衛生上の観点から議論する厚生科学審議会が引き継ぐとかのワクチンとの比較や感染状況、情報収集やガイドライン作りの必要性等を鑑み、接種の見送りという判断に至りました」

担当者は悔しそうだが、あらためて3社のワクチンの違いを確認したい。

「DNAの設計図ではなく、一步先の段階のメッセンジャーラナ製のワクチンは、DNA製のワクチンではなく、抗体ができます」一方、ファイザーとモデルナ製のワクチンは、DNA製のワクチンではなく、抗体ができます。DNAよりもすぐに使われる設計図を注射するのです。メッセンジャーRNAはDNAにくらべ、もう少し不安定だという欠点もありますが、ファイザーとモデルナ製は、それを克服し高い予防効果を実現しました。ただ、インフルエン

ンの効果について、「発症予防、重症化予防がメイン」という前提で話してきたが、ここにきて外国のデータを見ると、感染予防においてもかなり効果があるのではないか、という指摘がなされている」と語った。つまりワクチンを打てば、感染者が発症しにくくなるばかりか感染者自体が減る、という期待を示し、国民にあと少しの

予定通りにワクチン接種が進めば、この不条理な自粛生活も先は長くあるまい。ところが足を引っ張る不届きな組織がある。その代表が日本医師会。コロナ収束はもはや、我欲に忠実で身勝手な会長率いるこの組織の横暴を、どう抑えるかにかかっているようだ。

なにか不都合が起きたときだけのように見えます」そうとしても、近くワクチン接種が進んで医療逼迫が改善され、ひいては集団免疫の獲得でようやくコロナが収束するなら、まだ緊急事態宣言の延長が決まつた5月28日夜の会見で、ワクチンの効果について、「発症予防、重症化予防がメイン」という前提で話してきたが、ここにきて外国のデータを見ると、感染予防についてもかなり効果があるのではないか、という指摘がなされている」と語った。つまりワクチンを打てば、感染者が発症しにくくなるばかりか感染者自体が減る、という期待を示し、国民にあと少しの

厚労省の問題を明らかにした。5月21日、米モルナと英アストラゼネカのワクチンが正式に承認され、会の尾身茂会長も、緊急事態宣言の延長が決まつた5月28日夜の会見で、ワクチンの効果について、「発症予防、重症化予防がメイン」という前提で話してきたが、ここにきて外国のデータを見ると、感染予防についてもかなり効果があるのではないか、という指摘がなされている」と語った。つまりワクチンを打てば、感染者が発症しにくくなるばかりか感染者自体が減る、という期待を示し、国民にあと少しの

我慢を頼んだのだが、それにしては、いまなおワクチン接種の足を引っ張る勢力がある。厚生労働省と日本医師会である。

副反応について、寺嶋教

徴が日医です」  
「もつとも、個別接種がうまくいっている地域もある現在、1回目の接種を終えた高齢者の割合が25%以上と全国一の和歌山県について、仁坂吉伸知事が言う。「人が多い都市部は個別接種がいいと判断した一方で山間部は、小さなクリニックに予約が殺到するのを避けるためにも、集団接種がいいなど、地域ごとに事情が異なります。ただ、個別接種に関しては医師会のご協力が大切で、市の職員や市長が医師会に頭を下げて説得し、ご協力を得てうまくいっています」

接種が速く進んでも、ワクチンが供給されなければ意味がないので、「早く接種したい！」と書かれてる中川会長の背後のパネルにはいつも「うつさない！」といふ。ワクチンは「感染予防についても効果がある」

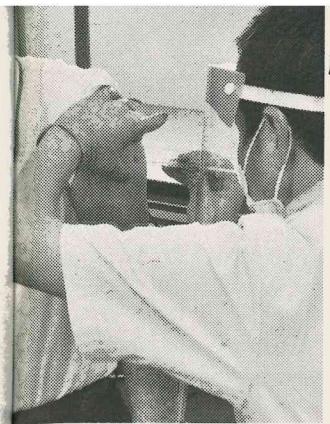
「対応できませんので」

という分科会の尾身会長の  
話を紹介したように、うつ  
さず、うつらないための切  
り札がワクチンである。  
中川会長にはぜひ言行一  
致を実現し、ワクチン接種一

5月20日に「7名」と公表した入院患者の感染者数が、30日に「9名」に増えているが、その間、感染対策は講じたのか。

日常はかなり取り戻せるはずだ。最後に朗報も記したい。英グラクソ・スミスクリーン社日本法人の広報担当者が言う。

されている。ワクチンで足を引っ張った厚労省そして日医と中川会長は、罪滅ぼしとしても、これの緊急承認に向けて全力を尽くしてほしいものである。



順調に進むかどうかは医師会次第

の必要性を説く。  
「血栓症リスクが低い60歳以上の方や男性には、アストラゼネカ製でいいという方も、一定数いるのでは。そういう人に打てば完遂率は上がり、ワクチン接種のスピードアップの大きな助けになるでしょう。またファイザーやモデルナ製でアナフィラキシーショックと言いつ切る。

が出た人には、アストラゼネカ製が切り札になる。選択肢を増やす意味でも、早くガイドラインを作る必要があると思います」

ワクチンは新型コロナの発症や重症化のほか、感染自体も予防できるとわかつたのに、厚労省はアストラゼネカ製の接種を見送つている場合ではない。

上、ワクチン接種の足を引つ張るべきではない。中川会長が菅総理に提案したのは、かかりつけ医での個別接種だが、自身も日本医師会会員である長尾クリニックスの長尾和宏院長は、「見当違います。多くの国民に接種を進めるには、集団接種を主体にしたほうが効率的。個別接種は会場まで行けない虚弱高齢者などほかに方法がない人の受け皿に留めるべきです」と指摘して、続ける。

「ファイザー社などのワクチンの扱いはデリケートで多くの制約があり、難易度が高い。瓶から6人分を吸い取つたら6時間以内に使いたらなければならず、車での運搬時に砂利道は通れません。また、小規模開業医での個人接種では余剰ワクチンが増える。万一、ア

「それはありません。医師は打つ必要はなく、問診と監督に専念する。看護師や歯科医師、救急救命士を打ち手として総動員すれば足りるはず。中川会長の、効率が悪い個別接種にこだわる発言が、集団接種を拡充しようという機運に水を差している。医師会は発熱対応でもワクチン接種でも間違いを重ねています」

長尾院長は、いま個別接種に協力している診療所は体感的に「半分強ではないかと思う」と語るが、ノン・フィクション作家の辰濃哲郎氏も言う。

「日医がぶち上げた個別接種が、集団接種会場の医師不足の一因となっている地域は少なくない。医師にすれば、自分のクリニツクで打てるのだから、なぜ会場

## 医師会がすねて進まぬ接種

続いて日本医師会（日医）である。4月末日、菅総理からワクチン接種の加速に協力を求められると、中川俊男会長は「全面的に協力する」と答えたが、東京脳神経センター整形外科脊椎外科部長の川口浩氏は、「これは完全な空手形」と言い切る。

宛てた通達にも「協力をお願いします」としか書かれていません。また中川会長は、ワクチン接種への歯科医動員に消極的です。指揮系統が乱れるから歯科医の参入に難色を示すならまだわかる。しかし自らは会員に命令できる立場にないのに、既得権益にこだわつて歯科医を排除しようといふのは、本末転倒です」

日医は開業医の利益を守る圧力団体なので、身内にゆるく、国民やライバルたるうる歯科医に強い圧力をかけるのはいつものことだ。とはいっても、「国民の生命と健康」を云々する以

「ファイザー社などのワクチンの扱いはデリケートで多くの制約があり、難易度が高い。瓶から6人分を吸い取つたら6時間以内に使わなければならず、車での運搬時に砂利道は通れません。また、小規模開業医での個人接種では余剰ワクチンが増える。万一一、アナフィラキシー・ショックが起きたとき、十分な対応ができるない可能性もあります。多くのスタッフが配置される集団接種のほうは、ワクチンの破棄や事故というリスクを減らせます」

と指摘して、続ける。

種に協力している診療所は、体感的に「半分強ではないかと思う」と語るが、ノン・フィクション作家の辰濃哲郎氏も言う。

「日医がぶち上げた個別接種が、集団接種会場の医師不足の一因となっている地域は少なくない。医師にすれば、自分のクリニックで打てるのだから、なぜ会場に打ちに行かなくてはいけないのか、と思います。また、世界的には今日、薬剤師や看護師が対等に意見を言い合えるチーム医療が進んでいますが、日本では医師の特権意識が妨げになつている。」歯科医も一緒にが

# 週刊新潮

6月10日号  
440円

記事の  
リンクを  
WEBで公開中!



22